

## NY マーケットレポート (2016年10月4日)

欧米の株価が堅調な動きとなったことを受けて、序盤のドル円・クロス円は、比較的堅調な動きとなった。そして、リッチモンド連銀総裁が、FOMC で投票権を持っていたら利上げ見送りを決めた先月の FOMC では反対票を投じたと発言したことから、年内の利上げが意識され、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。一方、ECB 政策担当者の中でテーバリング(量的金融緩和の縮小)が議論されているとの関係者の話が報道されたことを受けて、ユーロは大きく上昇したが、ECB 報道官が否定したことから、反落する動きとなった。そして、英ポンドは、前日のメイ首相の発言が引き続き材料視され、対ドルで 1985 年 6 月以来の安値を更新するなど、主要通貨に対して軟調な動きとなりました。

### 2016年10月4日(火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	102.42	102.50	101.58
EUR/JPY	114.40	114.67	113.88
GBP/JPY	130.80	131.37	130.37
AUD/JPY	78.41	78.58	77.91
EUR/USD	1.1174	1.1217	1.1165

LONDON	高値	安値
USD/JPY	102.56	102.30
EUR/JPY	114.51	114.09
GBP/JPY	130.93	130.32
AUD/JPY	78.64	78.37
EUR/USD	1.1181	1.1150

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	102.88	102.98	102.45
EUR/JPY	115.25	115.38	114.36
GBP/JPY	130.98	131.22	130.63
AUD/JPY	78.45	78.71	78.16
NZD/JPY	74.18	74.74	73.93
EUR/USD	1.1204	1.1239	1.1138
AUD/USD	0.7626	0.7670	0.7609

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18168.45	-85.40
S&P500	2150.49	-10.71
NASDAQ	5289.66	-11.22
日経225 (CME)	16740	+135
トロント総合	14521.01	-168.03
ボルサ指数	47909.27	+307.34
ボバスタ指数	59339.23	-122.00

#### 10/5 経済指標スケジュール

08:01	【英国】9月BRC店頭価格指数
09:00	【ニュージーランド】9月ANZ商品価格指数
09:30	【香港】9月購買部景気指数
09:30	【オーストラリア】8月小売売上高
16:30	【スウェーデン】8月鉱工業生産
16:50	～ 17:30
	【フランス】【ドイツ】【欧州】【英国】9月非製造業PMI
18:00	【欧州】8月小売売上高
19:15	【ポーランド】政策金利発表(時間不確定)
20:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
21:15	【米国】9月ADP雇用統計
21:30	【米国】8月貿易収支
21:30	【カナダ】8月国際商品貿易
22:45	【米国】9月マークイット米国サービス業PMI
23:00	【米国】8月耐久財受注
23:00	【米国】8月製造業受注指数
23:00	【米国】9月ISM非製造業景況指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1269.70	-43.00
NY 原油	48.69	-0.12
CMEコーン	348.25	+2.25
CBOT 大豆	963.50	-9.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.822%	0.794%
3年債	0.942%	0.907%
5年債	1.227%	1.183%
7年債	1.510%	1.455%
10年債	1.686%	1.626%
30年債	2.411%	2.344%

ドイツ10年債	-0.054%	-0.093%
英国 10年債	0.779%	0.733%

#### 10/5 主要会議・講演・その他予定

- ・シカゴ連銀総裁 講演
- ・リッチモンド連銀総裁 講演
- ・ミネアポリス連銀総裁 挨拶

## NY 市場レポート

21 : 10

◀ 要人発言 ▶

ラッカー・リッチモンド連銀総裁

- ・「先制的な利上げはインフレ安定に極めて重要になる」
- ・「金利は現在、少なくとも 1.5% になっているべきだ」
- ・「現在の政策金利は極端に低い」
- ・「QE に基づく購入はインフレ懸念を高めた」
- ・「大規模な FRB バランスシートの縮小を懸念している」

21 : 20

メイ英首相が来年 3 月末までに EU 離脱を通知すると表明したことが引き続き材料視され、EU 離脱に伴う英経済へのリスクが意識されてポンド売りが続いており、英ポンドは対ドルで 1.2736 ドルまで下落し、1985 年 6 月以来の安値を更新した。



出所 : Bloomberg

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

7 月メキシコ総設備投資 -3.6% (予想 -1.5%・前回 -0.5%)



出所：Bloomberg

22：00

**IMF が最新の世界経済見通しを公表**

- ・「世界経済の成長率予想 2016 年 3.1%、2017 年 3.4%に据え置き」
- ・「米成長率予想 2016 年 1.6%、2017 年 2.2%に修正」
- ・「日本の成長率予想 2016 年 0.5%、2017 年 0.6%に修正」
- ・「ユーロ圏成長率予想 2016 年 1.7%、2017 年 1.5%に修正」
  
- ・「2016、2017 年の米経済の成長率予想を下方修正」
- ・「2016、2017 年の日本とユーロ圏の成長率予想を上方修正」
- ・「2016、2017 年の中国の成長率予想を据え置き」
  
- ・「ブラジルとロシアはリセッション脱却に近づく」
- ・「世界の景気回復は低調、政治的不協和音が主要なリスク」
- ・「先進国の政治的緊張で不確実性高まる」

22：25

◀ 要人発言 ▶

**ラッカー・リッチモンド連銀総裁～記者団に対して**

- ・「インフレ上昇の兆候がある」
- ・「景気は過熱していないが、労働市場はタイトだ」
- ・「9月のFOMCで議決権があれば反対票を投じていた」
- ・「賃金の伸びは生産性を上回り、インフレ圧力を示唆している」

**ECB 公的部門購入プログラム**

	9月30日	・9月23日	・9月16日	・9月9日	・9月2日	・8月26日
公的部門	・	・	・	・	・	・
資産担保証券 ABS	10612.4	10497.0	10342.9	10183.3	10019.5	9908.1
カバード債	206.7	202.7	203.2	201.7	201.4	202.2
	1943.0	1938.7	1930.1	1915.3	1907.4	1892.1
(億ユーロ)						

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米ISMニューヨーク 49.6 (前回 47.5)



出所 : Bloomberg

0 : 45

関係者

- ・「ECB は、QE テーパーリングの必要性でコンセンサスの形成が近い」
- ・「ECB のテーパーリングの時期は経済見通し次第」

◀ポイント▶

ECB は量的緩和の期間終了前に段階的に買い入れを減らし、月 100 億ユーロ（約 1 兆 1500 億円）ずつペースを落としていく可能性がある」と匿名を希望した関係者が明らかにした。この 1 ヶ月に政策担当者の中で、資産買い入れのテーパーリングが必要になるとの非公式のコンセンサスが形成されたという。ECB は内部でテーパーリングが議論されているという情報について、「政策委員会ではこのようなテーマを話し合っていない。ドラギ総裁が前回の記者会見や最近の欧州議会での証言で述べたとおりだ」と電子メールで回答した。



出所 : Net Dania

### ＜欧州のポイント＞

- ①トルコのユルドゥルム首相は、今年と2017年の経済成長率がそれぞれ3.2%と4.4%になるとの見通しを示し、2018年と2019年の成長率については5%になるとの見通しを示した。首相は政府の中期プログラムを発表し、プログラムが財政を強化すると共に、財政規律を高めると指摘した。また、2016年末時点のインフレ率は7.5%となると予想した。
- ②ブラート ECB 専務理事は、インフレ率が目標に達するまで低金利を維持するとあらためて表明し、銀行の利益を支えるのは ECB の役割ではないとの見解を示した。ユーロ圏の銀行システムの見通しが持続的に改善するには、金融政策の枠外で一層の努力が必要だと指摘した。その上で迅速な銀行同盟の完成や、新たな規制・マクロ経済環境の下で実現可能なビジネスモデルの確立、一段のコスト削減がとりわけ重要と強調した。
- ③アイルランドは、2016年と2017年の成長率見通しを下方修正した。英国のEU離脱決定による悪影響を懸念したという。2016年の成長率予想は当初の4.9%から4.2%へ引き下げ、2017年については3.9%から3.5%へ引き下げた。

### ＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、堅調な動きとなった。英ポンドが対ドルで31年ぶりの安値をつけたことから、輸出企業の業績改善期待で買いが膨らみ、英FT100指数は2015年4月下旬につけた最高値に迫った。また、独DAX指数は、経営に対する不安後退でドイツ銀行の株価が値上がりしたが、全体を押し上げた。

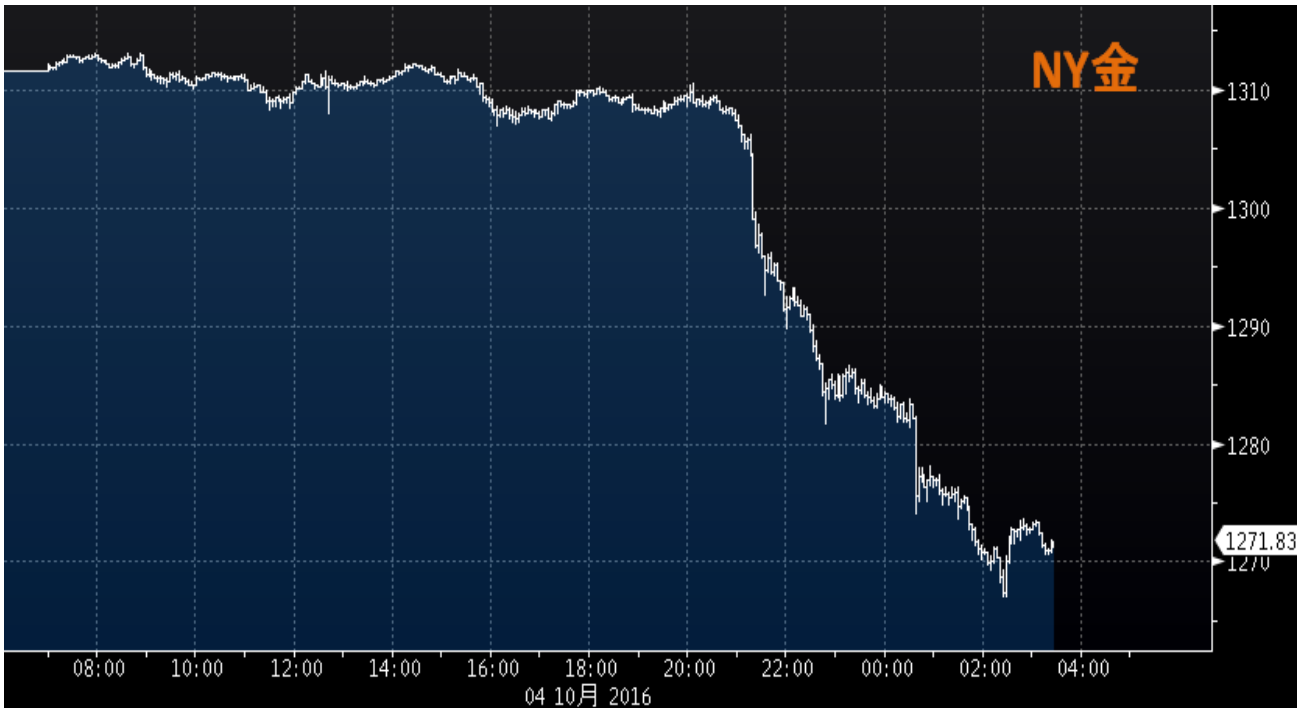


出所：Bloomberg

### ＜ NY 金市場 ＞

NY金は、中心限月が前日比43.00ドル安の1オンス=1269.70ドルで取引を終了した。

NY金は、ドルが主要通貨に対して上昇し、ドルの代替資産とされる金の売りが優勢となった。また、FRBが年内に追加利上げに踏み切るとの観測が高まっていることも相場を圧迫した。下げ幅は2013年6月26日以来の大きさとなり、終値ベースでは今年6月下旬以来約3ヵ月半ぶりの安値水準となった。

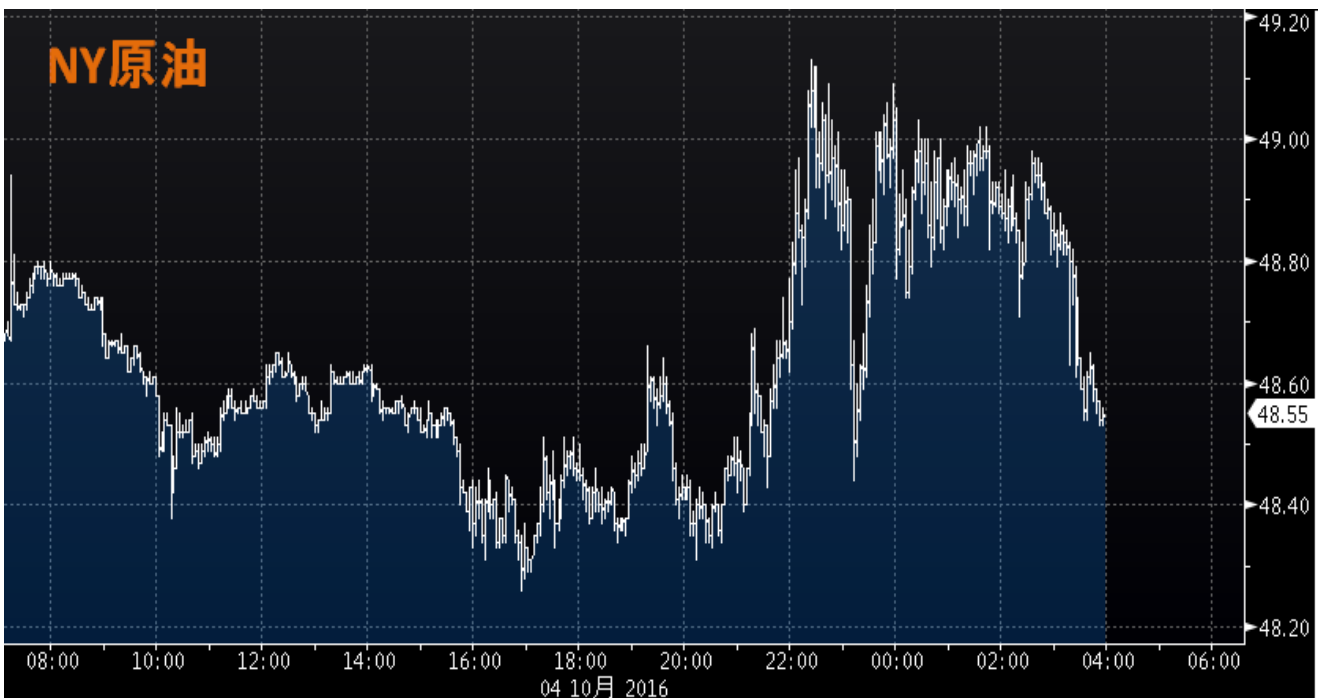


出所：Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 0.12 ドル安の 1 バレル=48.69 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC の減産合意による需給改善期待が続いて買いが先行したが、その後はドルが主要通貨に対して上昇し、ドル建ての原油の割高感が出たことから、売り優勢に転じた。また、米石油統計で原油在庫の増加が予想されることも圧迫材料となった。



出所：Bloomberg



《米株式市場》

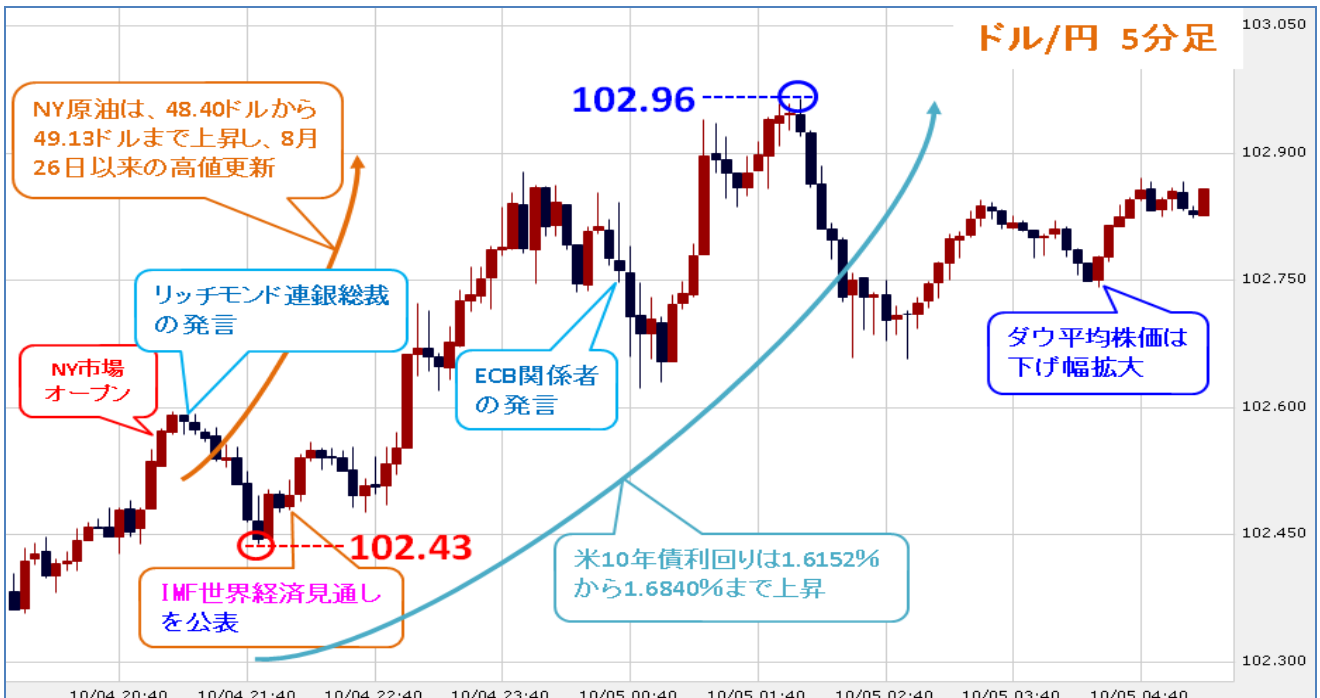
米株式市場は、アジアと欧州の主要株式市場が上昇したことが好感され、主要株価は堅調な動きとなった。ただ、その後は米国の利上げが意識されたことから下落に転じ、マイナス圏まで下落する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤 59 ドル高まで上昇したものの、その後は 137 ドル安まで下落する動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤は欧米の堅調な株価を背景に、ドル円・クロス円は比較的堅調な動きとなった。その後は、米国の利上げが意識されたことからドルが主要通貨に対して堅調な動きとなった。また、ユーロは、ECB でテーパリングが議論されているとの関係者の発言を受けて、主要通貨に対して上昇したものの、報道官が否定したことから反落する動きとなった。



出所：総合分析チャート

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。